

ロンドン、2020年1月21日

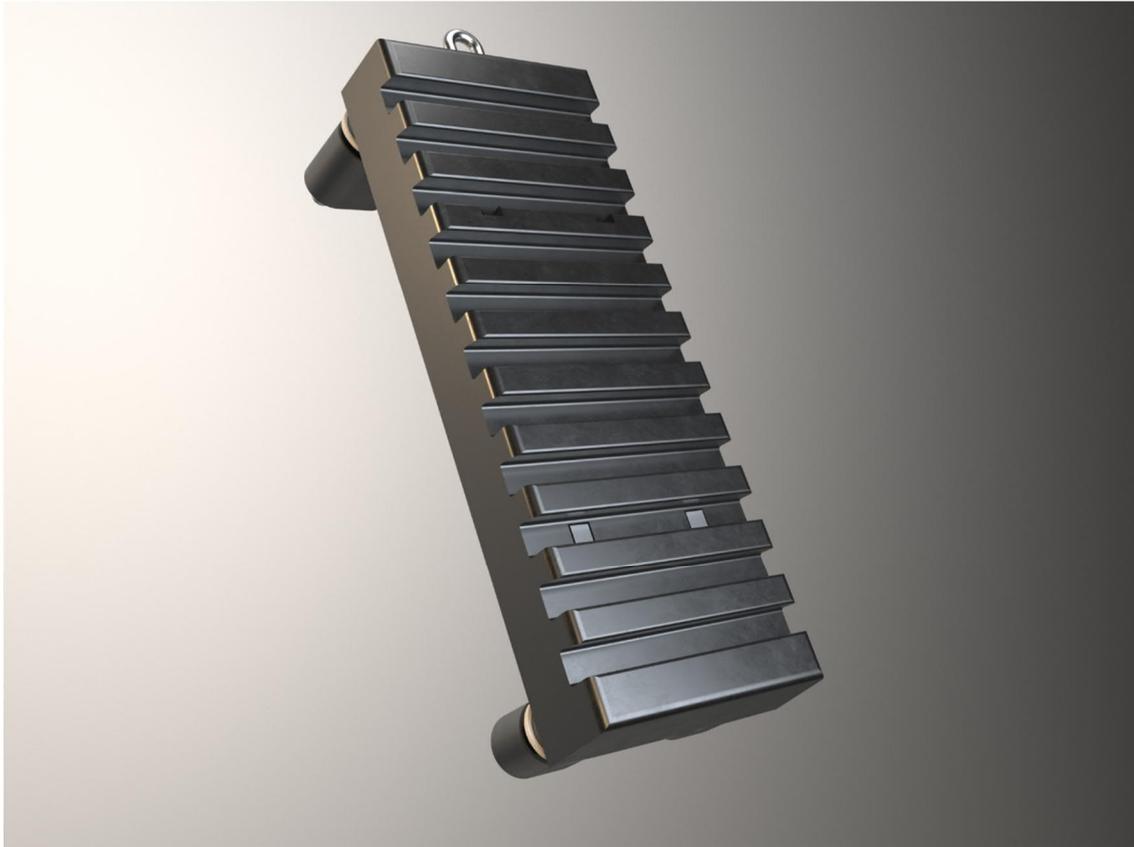
台湾の CSC より高炉向けにステーブを受注

- CSC の第 2 高炉にステーブを据付
- 高炉の耐用年数をさらに 18 年延長
- 高炉 6 基のうち 5 基に当社製機器を導入予定

プライメタルズテクノロジーズ (Primetals Technologies) は、台湾の鉄鋼メーカーであるチャイナスチール (以下、CSC 社) の子会社、チャイナスチールマシナリー (以下、CSMC 社) より、高雄製鉄所の第 2 高炉用のステーブを受注しました。この新型ステーブは、高炉の耐用年数をさらに 18 年延長することを目的として、第 2 高炉の第 3 次改修の一環として導入されます。今後、CSC および子会社の中龍鋼鉄 (Dragon Steel) が操業する高炉 6 基のうち 5 基に、プライメタルズテクノロジーズの機器が導入される予定です。最終納入は 2020 年 6 月末を予定しています。

第 2 高炉の炉床直径は 12 メートルで、内容積は 3,300 立方メートルです。生産能力は 1 日平均 6,900 トンです。第 2 高炉の第 3 次改修では、鉄皮と冷却システムも刷新します。冷却システムについては、炉床から上部スタックにかけて銅製および鋳鉄製のステーブを組み合わせる据付けします。当社は鋳鉄製ステーブを 9 本供給し、この新たなステーブの据付けは、2020 年の操業停止期間中に実施される予定です。改修後の高炉の操業開始は、2021 年前半を予定しています。

台湾最大の鉄鋼メーカーである CSC は年間約 1,000 万トンの生産能力を有し、そのうち約 3 分の 2 を台湾国内市場に、残りの 3 分の 1 を海外向けに出荷しています。製品は、鋼板、棒鋼、線材、熱延・冷延コイル、電気亜鉛めっきコイル、電磁鋼コイル、溶融亜鉛めっきコイル、Ni/Ti 基合金など多岐にわたります。同社高雄製鉄所にある 2 つの BOF 転炉工場には、7 基の 2 ストランド式スラブ連続鑄造機と、3 基の 4 ストランド式ブルーム連続鑄造機が設置されています。このうちスラブ連続鑄造機は主に炭素鋼および低合金鋼の生産に用いられています。当社は高炉用機器の供給だけでなく、近年 CSC 高雄製鉄所のスラブ連続鑄造機のアップグレード工事も実施しました。



プライメタルズテクノロジーズの鋳鉄製ステーブのCG画像

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下のURLよりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズテクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズテクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズテクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業における、エンジニアリング及びプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション、デジタルイゼーション、及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は、株式会社日立製作所ならびに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シー

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications
Head: Gerlinde Djumlija

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

Reference number: PR2020011934jp

メンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足した三菱重工のグループ会社です。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : www.primetals.com